



COCHAE (コチャエ)

“あそびのデザイン”をテーマに活動する軸原ヨウスケ、武田美貴、長友真昭（2025年～）によるデザイン・ユニット。2003年結成、「折紙をもっとポップに!」をキーワードにグラフィック折紙を制作。現在は新しい視点を持った玩具や雑貨の開発、商品企画、展示やWSなど幅広い活動を行っている。近年は山方永寿堂「岡山名物 きびだんご」などパッケージデザインを数多く手がける。

山の昔話を集めたふろしき



月に帰る
かぐや姫

悪さをしたためきに
うさぎが仕返し

猿にだまされる
さるかに合戦

油断したうさぎと
がんばるカメ

日本昔話山篇

妖怪を集めたふろしき



赤い舌で舐める
青白い妖怪

がしゃどくろ

輪の中に顔だけ
浮かぶ妖怪

年老いた猫が
変化した妖怪

水辺に住む
日本の妖怪

おおかむろ

全身が毛むくじゃらな妖怪

日本全国の郷土玩具を集めたふろしき



ふく笛
(山口県)

草津張子 狸々の
だるま (滋賀県)

今戸人形 月見兔
(東京都)

庄内姉様
(山形県)

イタヤ馬
(秋田県)

神鳩
(京都府)

福徳人形
(富山県)

吉備津こまいぬ
(岡山県)

長崎の郷土玩具「ハタ(凧)」と「鯨の潮吹き」を 組み合わせたふろしき



「ハタ」

赤・青・白のコントラストが美しい「長崎ハタ」は、唐とオランダから伝わったといわれ、「ハタが上がる＝運気が上がる」縁起物として親しまれています。



長崎張り子「鯨の潮吹き」

「鯨の潮吹き」は、長崎の祭礼「長崎くんち」で登場する、全長13mの巨大な鯨の山車を模した張り子です。江戸時代の古式捕鯨の様子を表現し、背中からポンプで水を吹き上げる仕掛けです。「長崎くんち」とは、日本三大祭と称され、国指定重要無形民俗文化財に指定されている長崎の文化が感じられるお祭りです。



福コチャエ



モチーフの配置によって、2～4種類のキャラクターで包むことができます。



オートスクリーンプリントの技術を駆使して、忠実に原画を生地に染めています。



オーガニックコットンの認証には農薬・肥料の基準、児童労働や生産者の健康への配慮、フェアトレードであることも含まれています。



バッキングは、薄手で複雑な織り組織から成る凹凸のある生地感が人気です。



ストールなどファッションアイテムとしてもご利用いただけます。



包むと様々な縁起の良いキャラクターに変身します。